

令和6年6月定例会（とやま市議会だよりNo.82）

常任委員会（予算決算委員会）（市議会だより4ページ）

6年度富山市一般会計補正予算など5件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

・総務文教分科会

6年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

（重文）旧森家住宅 耐震対策事業（土蔵工事）

委員 令和6年能登半島地震を受け、重要文化財である旧森家住宅の土蔵の被害復旧と耐震補強工事には、地域における歴史的建築物に関する専門的な知識や能力を備えた地元業者が工事に携わることが必要であると考え。業者の選定について、どのように考えているのか。

市 本事業を実施するにあたり歴史的背景をよく知る地元業者への発注は望ましいことではあるが、重要文化財における保存修理工事の質の担保や技術の継承を図る観点から、伝統技術が必要な工事においては、国の選定保存技術保持者または施工実績等で同等の技術を有する技能者を職長とするなど留意する必要がある。

そのため、適正な契約方法を取るとともに、重要文化財として歴史的価値が保たれる工事が行われるよう進めていきたいと考えている。

・厚生分科会

6年度富山市一般会計補正予算など2件について、審査した。

災害見舞金等支給事業

委員 令和6年能登半島地震による住宅被害について、当初、一部損壊と判定されたが、再調査の結果、準半壊などに判定が変わった場合、災害見舞金の支給はどのようになるのか。

市 一部損壊から準半壊などに判定結果が変更となった場合は、その差額分を後日お支払いする。

- **経済環境分科会**

6年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

- **建設分科会**

6年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

常任委員会（部門別常任委員会）（市議会だより5ページ）

＜総務文教委員会＞

富山市市税条例の一部を改正する条例制定の件など7件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

工事請負契約締結の件（山室中学校体育館改築主体工事）

委員 本市では、学校体育館への空調設備導入の調査を行っている。本事業完了後の山室中学校においても、空調設備の導入は可能なのか。

市 本事業は、3年前から設計に着手したものであり、その時点では空調設備の導入についての検討は行っていない。現在、学校体育館への空調設備導入の調査を行っているところであるが、断熱方法や配線方法はそのまま適用できるものと考えている。

＜厚生委員会＞

富山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件など8件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

委託契約締結の件（富山市民球場人工芝及び防護マット更新業務委託）

委員 既存の人工芝の再利用は考えているのか。

市 既存の人工芝については、廃棄物の削減を目的として、可能な限り再利用したいと考えている。再利用にあたっては、運搬しやすい大きさへのカット、砂やゴムチップといった充填材じゅうてんの排除などの費用が発生することから、その費用が契約金額の範囲内に収まる量として全体の約50%にあたる約7,000平米を再利用することとしている。

再利用先については、本庁舎内や、富山市スポーツ協会加盟団体、また、野球競技用の人工芝であることから、富山県高等学校野球連盟に希望調査を行った。

その結果、本市施設としては、富山市パークゴルフ場や牛岳温泉スキー場などの7施設、県内の高等学校については、18校に配分することとなっている。

富山市総合体育館の改修

委員 富山市総合体育館の改修について、長寿命化と、富山グラウジーズのBリーグプレミア参入それぞれについて、どのような内容を考えているのか。

市 まず、長寿命化を目的とした改修について、最も大きいものは、メインアリーナ、サブアリーナのつり天井の改修である。

また、空調設備の改修も計画されていると聞いている。

次に、グラウジーズのBリーグプレミアへの参入を目的とした改修について、参入条件として、座席数が5,000席以上必要となり、現在の4,650席から350席増設する必要がある。

また、座席数に応じたトイレの増設や、観戦が可能なVIPルームの設置が必要となる。

さまざまな参入条件があることから、事業者とグラウジーズでBリーグとさまざまな折衝をしながら、計画を立てていると聞いている。

<経済環境委員会>

委託契約締結の件（富山競輪場映像設備更新業務委託）など3件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、陳情1件については、「採択」すべきものと決した。

委託契約締結の件（富山市つばき園改修業務委託）

委員 本委託契約の契約方法と契約金額の妥当性について、どのように考えているのか。

市 まず、本委託契約については、指名競争入札を実施したが、1者のみの応札であったため入札は不調となった。このことから、唯一応札のあった当該業者との随意契約となったところである。

次に、契約金額については、本委託契約は設備の設計、工事、その他施工を一括したものであり、浄化槽汚泥の受け入れ・処理を止めないように、プラントを別の場所で造り、切り替えを行うような特殊な設計となっているため、これだけの費用がかかるものとなっている。

また、今年度からプラントに精通した担当者を配置しており、十分に内容を精査しながら取り組んでいきたいと考えている。

委員 多額な予算をかけて改修することになるが、今後、どのくらいの期間を維持する計画なのか。

市 つばき園は、し尿や浄化槽汚泥の処理施設である富山地区広域圏衛生センターと統合することについて検討もしたが、市内の浄化槽汚泥の排出量がなかなか減らない状況もあり、当該改修を計画することとした。

現在の浄化槽汚泥の排出状況から、当分の間は施設を維持していく必要があると考えている。

高齢者・身体不自由者に対するごみ収集の件についての陳情

市 本市のごみ収集については、市民の皆さんがごみ集積所に直接、ごみを排出していただくステーション方式で実施している。

その他に、ご自宅の前まで有料で収集に伺う戸別有料収集を実施しており、高齢者のみの世帯でごみステーションまでの距離が遠いなどの理由で、現在4世帯の方が2週間に1回、あるいは月に1回利用されている。

なお、全国で実施されている高齢者等のごみ出し支援については、1つに、市の職員や市から委託を受けた事業者が利用者宅からごみを収集する直接支援型、2つに、町内会やNPO法人等の地域団体が行うごみ出し支援活動に市が補助金で支援するコミュニティ支援型、3つに、生活支援の1つとして地域住民の助け合いによりごみ出しを行う福祉サービス一環型と、3つのタイプがある。

このうち直接支援型については、本市では、これまで先行都市の事例収集や福祉保健部の関係課との協議を行ってきたところである。実施にあたっての課題としては、ごみ出し困難世帯の実態把握や支援の必要性の判断基準、車両や人員の確保といった収集体制の整備、財源の確保などが挙げられる。

今後、さらに高齢化が進行していく中で、ごみ出しが困難な方に対する支援の必要性は認識しており、さまざまな課題を解決するために、他都市の具体的な事例を調査・研究し、本市に適した支援体制を検討したいと考えている。

委員 ごみ出しで実際に困っている方がいるのであれば、支援してほしいと思うが、この業務を実施するにあたり、環境センターのキャパシティを超えることはないのか。

市 令和4年度に行った実態調査により、支援が必要な世帯は約700世帯だと認識している。まずは、本市に適した支援体制の具体的な内容について、これから調査・研究を行いたいと考えている。

委員 地域の共助によりごみ出し支援を受けている高齢者や障害者の方もいるが、近くに頼れる方がいないという方もいると思う。

ごみ出し支援も公助の領域として、本市の体制を整えて、関係部局とともにぜひ前向きに検討してほしい。

委員 さまざまな支援方法がある中で、本陳情を採択すると戸別無料収集を実施する方向に進んでしまう恐れがある。

本市として、どのような支援ができるのかをこれから調査・研究していくと説明があったので、現時点では採択すべきとまでは言えない。

結果 採択すべきものと決した。

<建設委員会>

富山市附属機関設置条例の一部を改正する条例制定の件など7件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

工事請負契約締結の件（富山市親水広場整備工事）

委員 富山市親水広場整備工事を行うことにより、広場はどのように変わるのか。

市 現在の親水広場は2000年とやま国体に合わせて造られたもので、照明柱が真ん中に立っており、広いイベントスペースが確保できない。そのため、照明柱の配置を工夫し、イベントスペースとして広く使えるようにしたいと考えている。

また、現在は、イベント開催時に、例えば大型モニターを搭載したトラックなどが乗り入れる場合に地面を養生しているが、そうした大型車両がそのまま乗り入れられる舗装を整備したいと考えている。

さらに、富山駅北から富岩運河環水公園まで運行しているグリーンスローモビリティの走行レーンや、日陰をつくるためのシェルター、防犯・監視カメラ、フリーWi-Fi等も整備する予定となっている。

【所管部局からの報告事項】

○上下水道局

- ・上下水道局庁舎空調設備における下水熱利用の効果検証結果

○建設部

- ・市営住宅使用料（家賃）の算定誤り